

## 4 製造品出荷額等

- \* 製造品出荷額等は 8 兆 1594 億円
- \* 産業別では、「輸送用機械」が 1 兆 5493 億円（構成比 19.0%）で最も多い
- \* 地域別では、府中市が 8917 億円（構成比 10.9%）で最も多い

### (1) 産業別の状況

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が 1 兆 5493 億円（構成比 19.0%）で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が 1 兆 7 億円（同 12.3%）、「情報通信機械」が 8771 億円（同 10.7%）となっている。

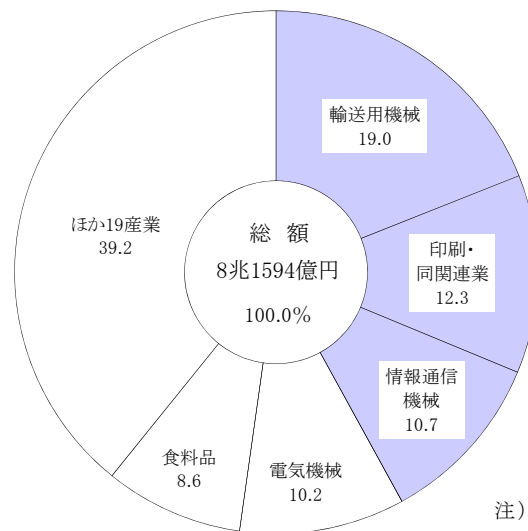
前年と比較すると、17 産業が増加し、7 産業が減少している。

前年と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「電気機械」の 2392 億円（40.1%）、次いで「輸送用機械」の 758 億円（5.1%）、「情報通信機械」の 441 億円（5.3%）となっている。

前年と比較して減少した産業のうち減少額が最も多いのは、「はん用機械」の 1456 億円（ $\Delta$ 51.9%）、次いで「その他」の 340 億円（ $\Delta$ 11.2%）、「印刷・同関連業」の 134 億円（ $\Delta$ 1.3%）となっている。

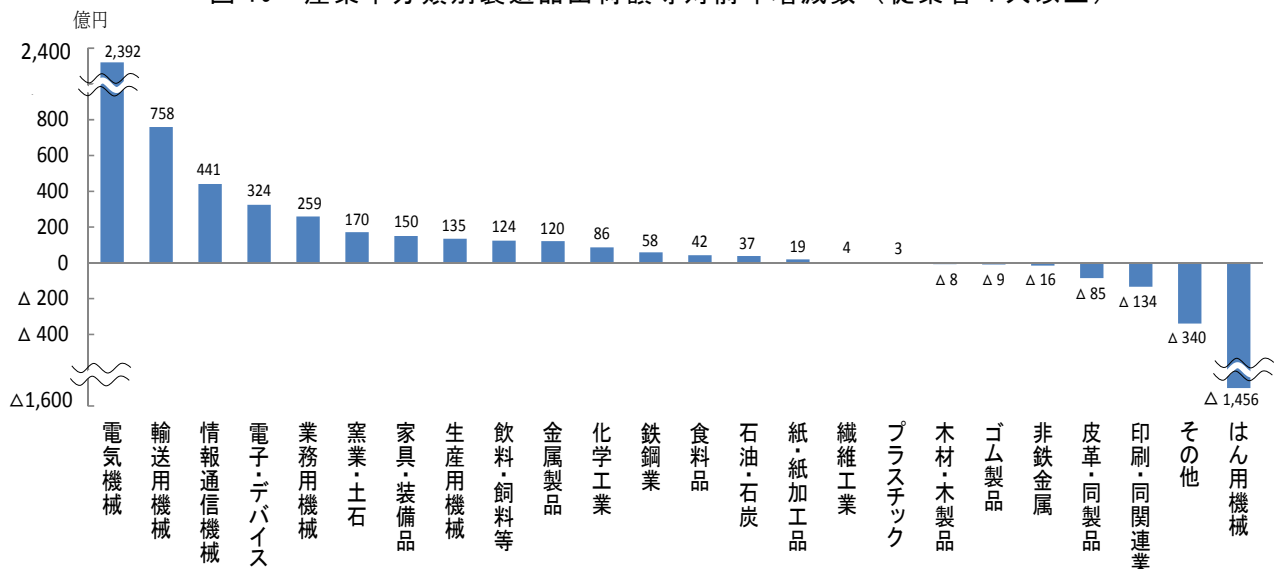
（図 18、図 19、付表 1）

図 18 産業中分類別製造品出荷額等構成比（従業者 4 人以上）



注) 上位 3 産業に網掛けをしている。

図 19 産業中分類別製造品出荷額等対前年増減数（従業者 4 人以上）



(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が2兆9165億円（構成比35.7%）で最も多く、次いで「50～99人」が8541億円（同10.5%）、「100～199人」が7734億円（同9.5%）となっている。

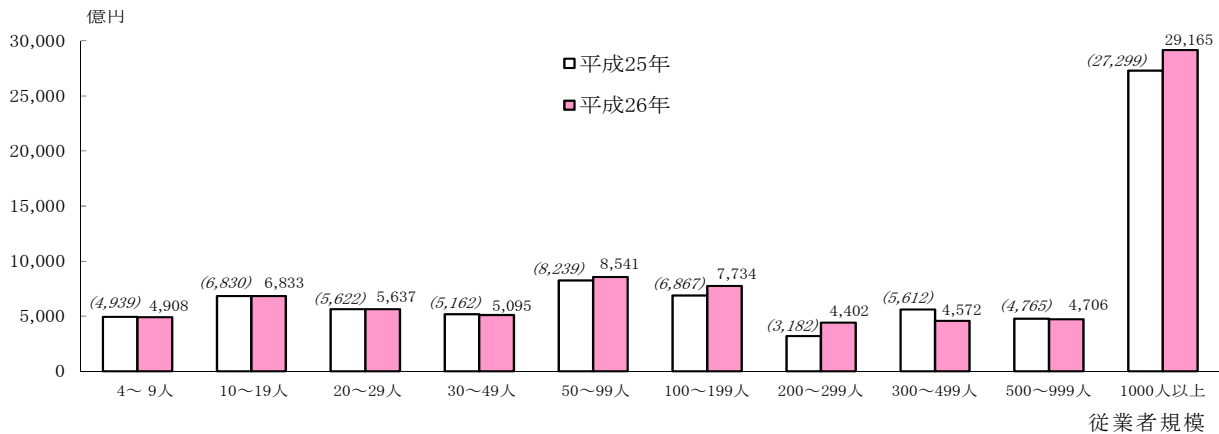
前年と比較すると、6区分が増加し、4区分が減少している。

前年と比較して増加した区分のうち増加額が最も多いのは、「1000人以上」の1866億円（6.8%）、次いで「200～299人」の1219億円（38.3%）、「100～199人」の867億円（12.6%）となっている。

前年と比較して減少した区分のうち減少額が最も多いのは、「300～499人」の1040億円（△18.5%）、次いで「30～49人」の66億円（△1.3%）、「500～999人」の59億円（△1.2%）となっている。

（図20、付表2）

図20 従業者規模別製造品出荷額等（従業者4人以上）



(3) 地域別の状況

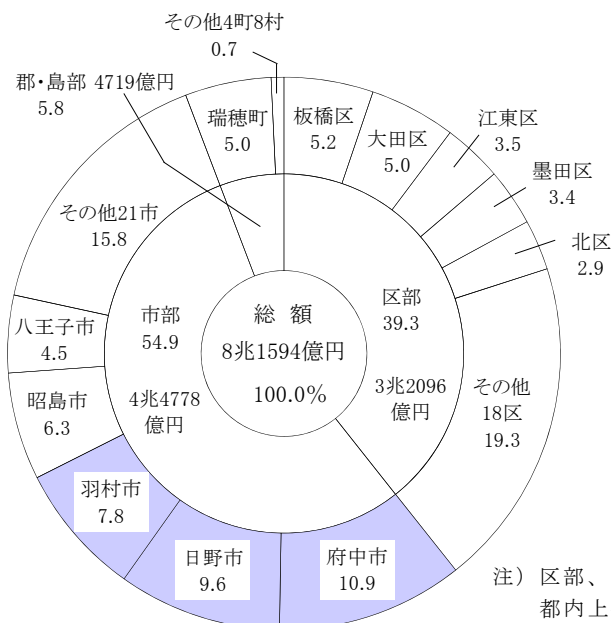
地域別にみると、区部が3兆2096億円（構成比39.3%）、市部が4兆4778億円（同54.9%）、郡部が4685億円（同5.7%）、島部が34億円（同0.0%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、板橋区が4258億円（同5.2%）で最も多く、次いで大田区が4110億円（同5.0%）、江東区が2843億円（同3.5%）となっている。

市部では、府中市が8917億円（同10.9%）で最も多く、次いで日野市が7801億円（同9.6%）、羽村市が6333億円（同7.8%）となっている。

郡部では、瑞穂町が4108億円（同5.0%）で最も多くなっている。（図21、付表3）

図21 区市町村別製造品出荷額等構成比（従業者4人以上）



注) 区部、市部の各上位5位及び郡部・島部の1位を表記  
都内上位3位の区市に網掛けをしている。